



千葉大学予防医学センターと竹中工務店が連携 「健築®」をコンセプトに人と建築が寄り添う健康的な環境を実現

国立大学法人千葉大学（学長：徳久剛史）は、株式会社竹中工務店（社長：宮下正裕）と共同で、健康経営・健康社会の実現を空間・まちづくりの面から追及することを目的に、千葉大学予防医学センターに「竹中工務店 健康空間・まちづくり寄附研究部門」を設置しました。

<概要>

本寄附研究部門は、健康社会の実現を、空間・まちづくりの面から追求することを目的としています。千葉大学予防医学センター健康都市・空間デザイン学分野の花里真道准教授および原裕介寄附研究部門特任准教授を中心とし、建設会社である竹中工務店のリソースを活用し、人と建築が寄り添うことで、健康的な環境を実現する「健築®」というコンセプトの展開を主軸に、空間・まちづくりからの行動変容・健康増進にかかる研究・教育を開始します。

<主な実施内容>

■ 健築デザインガイドラインの開発

歩きやすいまちや使われやすい階段が身体に健康にもたらす効果、自然の光や緑が健康に及ぼす影響等、「健築®」に関わる既往のエビデンスを整理することで、ツールとして空間設計・まちづくりに活用できるようにします。

■ オフィス環境と行動・健康に関する調査研究

環境や健康状態に関するアンケート調査を継続的に実施し、データを蓄積します。エビデンスの少ない分野において、リアルな環境から調査を実施します。

■ ステークホルダーコミュニケーションの継続的な実施

予防医学、スポーツ、メンタルヘルスなど、有識者を招いた意見交換を行い、さまざまな視点から「健康社会と空間・まちづくり」について考えていきます。



<設置の背景>

2014年7月に「健康・医療戦略」が閣議決定されたように、世界有数の長寿社会を実現した日本の新たな課題として、『国民の「健康寿命」の延伸』をテーマとし保健・医療分野のみならず、広く産業面からの取組が求められています。また、欧米では、建造環境（人工的に構築された環境）が、生活習慣病など健康へあたえる影響の研究：**Built environment and Health**が、公衆衛生学、都市計画学、地理学分野で推進されています。

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ

千葉大学予防医学センター

竹中工務店 健康空間・まちづくり寄附研究部門 担当：吉田

TEL: 043-290-3877 メール: hiroaki.yoshida@chiba-u.jp